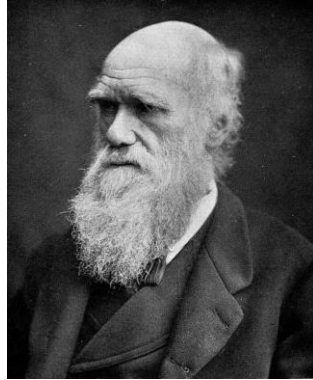


『Mind Charging』

第 90 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 7 月 30 日

ダーウィンの名言



It is not the strongest of the species that survives, nor the most intelligent that survives. It is the one that is most adaptable to change.

生き残る種とは、最も強いものではない。最も知的なものでもない。

それは、変化に最もよく適応したものである。

最初の『生き残る種』という部分を『社会で生き残る人』に変えてみると、捉え方が少し変わってきますし、自分たちの目指す先のヒントになると思います。おそらく、今後はさらに激動の時代に突入していくことが予想されます。常に変化が起こり、変化を求められるような環境の中で進んでいかなければならないと思います。

現在の状況と今後の方向について理解した上で、『あるべき姿』を模索していくことが変化への適応の第一歩だと思います。模索をしていく中で、これまでの努力が無駄になると感じることやスタイルを変える必要性が生じた時に感じる煩わしさもあると思います。しかし、様々な能力を身につける時に最初にすることは『身につけよう！』という大袈裟ではありますが“勇気”を振り絞ることです。ただ生きるのではなく“良く”生きるための術を身につけましょう！（編集委員：入試広報室 鈴木）

チャールズ・ロバート・ダーウィン(Charles Robert Darwin, 1809 年 2 月 12 日 - 1882 年 4 月 19 日)は、イギリスの自然科学者。卓越した地質学者・生物学者で、種の形成理論を構築。全ての生物種が共通の祖先から長い時間をかけて、彼が自然選択と呼んだプロセスを通して進化したことを明らかにした。進化の事実は存命中に科学界と一般大衆に受け入れられた一方で、自然選択の理論が進化の主要な原動力と見なされるようになったのは 1930 年代であり、自然選択説は現在でも進化生物学の基盤の一つである。また彼の科学的な発見は修正を施されながら生物多様性に一貫した理論的説明を与え、現代生物学の基盤をなしている。(Wikipedia 参照)